

# あなたの マイ・タイムライン それで大丈夫？

日時:2021年12月2日(木)  
18:00~19:30

参加  
無料

実施方法:Zoom ミーティング (オンライン)

## マイ・タイムラインとは？

風水害の発生にそなえて一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせあらかじめ作成する 自分自身の避難計画 のことです。  
大規模な水害を想定し、自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理することで、被害に遭うリスクを軽減することが期待されています。

では、マイ・タイムラインってどうやって作るの？  
逃げ遅れないためには、何を基準にすればいいの？



【定員】定員30名(申込順)

- ・参加するには、インターネットに接続できる環境(パソコン、またはスマートフォンなど)が必要です。
- ・参加者には、オンラインでの参加案内をメールでお送りいたします。

【申込】電話、メール、またはチラシ裏面の申込用紙をFAXでお送りください。

【対象】千代田区のボランティアグループ・団体や企業・機関に所属されている方など

※ちよだモデルネットワーク(通称CMN)は、千代田区内の企業・団体・施設・大学などの有志メンバーで構成されるネットワークの名称です。災害時・平時を問わず区内で顔の見える関係を築いています。



気象災害のプロが解説



山口県宇部市役所職員  
弘中秀治氏

1996年防災危機管理課への異動を機に気象予報士の資格を取得し17年在籍。

避難勧告マニュアルの作成、災害時要援護者支援制度の構築など数々の防災対策に従事する。NPO法人や市民活動団体などでも活動。特に、行政とボランティアの両方の声がわかるボランティアとして、災害ボランティアセンターの運営支援を数多く行っている。

■申込・問合せ ちよだボランティアセンター

〒102-0074 千代田区九段南1-6-10 かがやきプラザ4階

TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902

E-Mail: volunteer@chiyoda-cosw.jp

## ちよだモデルネットワーク(CMN)とは？

平時・災害時を問わず、地域内連携の形です。  
災害時の支援の仕組みを考えていくためには平時から区内の各機関が協力しあえるようなネットワークづくりに取り組んでいく必要があるという思いのもと、災害学習会に参加したメンバーで幹事会を立ち上げました。  
平時から顔が見える関係を作り、時には幹事間で協働して事業を展開したり、災害時の対応について、共に考え仕組みを作っていく仲間を増やし、「防災・減災」をキーワードに行動指針（案）の作成に取り組んでいます。

**申込先：ちよだボランティアセンター**

**E-mail：volunteer@chiyoda-cosw.jp Fax：03(3265)1902**

**ちよだモデルネットワーク主催 第2回災害学習会 参加申込書**

2021.12.2（木）18時～19時30分

ご所属（事業所名）			
参加者氏名			
連絡先	住所 〒 電話番号 E-mail		
Zoom の使用について ※11月25日(木) 16～17時に入室練習 日があります。	<input type="checkbox"/> 使用は初めて <input type="checkbox"/> 経験あり	使 用 端 末	<input type="checkbox"/> iphone(アイフォン) <input type="checkbox"/> Android (アンドロイド) <input type="checkbox"/> タブレット (ipad など) <input type="checkbox"/> パソコン
	<input type="checkbox"/> zoom の操作に不安があり、練習を希望する		

### 参加の上での注意

- 参加者には、オンラインで参加に必要なご案内をメールでお送りいたします。  
Eメールアドレスを必ず読みやすい字で記入してください。
- 学習会は、「ZOOM ミーティング」で行います。指定の時間5分前までには、ログインをしてください。
- 資料等は、事前に郵送でお送りいたします。